

総合戦略（素案）新旧対照表

修正後：戦略会議（素案1月）、修正前：（たたき台10月）

主な修正点：①第1章～第3章及び第5章の追加

②基本目標ごとの数値目標の設定と戦略会議等が出た意見による文言の修正

③K P I の項目変更、追加等（指標の数値 H26：現状値→H31 目標値）

④主な事業名に概要説明を追記

※②以外については（素案）本文を参照。

修 正 後	修 正 前
<p>第1章～第3章 (新規追加)</p>	
<p>第4章 基本目標と具体的な施策等</p> <p>▶基本目標1 地域における安定したしごとの創出</p> <p>1 基本的な考え方（現状と課題）</p> <p>○国内市場の縮小等により企業の事業環境が厳しい中で、地域での安定したしごとを創出するためには、新たな企業の誘致のみならず、既存企業の経営維持・拡大が重要であり、同時に、地元企業等が求める_____人材確保が課題となっています。</p> <p>また、本地域は、風力を中心として、自然や資源を活かした発電のポテンシャルが高いことから、地域主体による再生可能エネルギー事業を推進し、<u>エネルギーの地産地消を進めること等</u>で、関連産業の創出が<u>見込まれる</u>状況にあるほか、将来のエネルギーとして注目されている水素エネルギーについても、JAXA の能代ロケット実験場において研究が進められています。</p> <p>○本市農業の営農体系は稲作を中心にしながらも、野菜等との複合化が図られてきましたが、米価の下落基調から、なお一層の生産性向上や付加価値を高めるための取り組みが求められています。野菜では、ネギをはじめとした戦略作物の栽培面積拡大が図られてきていますが、<u>これらについては今後、</u>_____ブランド確立や新たな付加価値の創造に取り組む必要があります。また、農業者の高齢化</p>	<p style="text-align: center;">基本目標と具体的な施策等</p> <p>▶基本目標1 地域における安定したしごとの創出</p> <p>1 基本的な考え方（現状と課題）</p> <p>○国内市場の縮小等により企業の事業環境が厳しい中で、地域での安定したしごとを創出するためには、新たな企業の誘致のみならず、既存企業の経営維持・拡大が重要であり、同時に、地元企業等が求める<u>若者の</u>人材確保が課題となっています。</p> <p>また、本地域は、風力を中心として、自然や資源を活かした発電のポテンシャルが高いことから、地域主体による再生可能エネルギー事業を推進し、_____地産地消を進めること__で、関連産業の創出も<u>見込める</u>状況にあるほか、将来のエネルギーとして注目されている水素エネルギーについても、JAXA の能代ロケット実験場において研究が進められています。</p> <p>○本市農業の営農体系は稲作を中心にしながらも、野菜等との複合化が図られてきましたが、米価の下落基調から、なお一層の生産性向上や付加価値を高めるための取り組みが求められています。野菜では、ネギをはじめとした戦略作物の栽培面積拡大が図られてきていますが、<u>今後、これらの農産物の</u>_____ブランド確立や新たな付加価値の創造に取り組む必要があります。また、農業者の高齢化</p>

が進む中で、担い手育成や新規就農の促進が求められています。

- 林業においては、木材供給に対する外材依存が高いことから地場産材の利用が進まず、秋田スギの価格低迷が続いており、造林から保育、伐採までの林業経営は採算面で難しい状況にあります。また、本市域内のスギ林は多くが伐期を迎えていることから、その利用拡大に向けた取り組みが急務となっています。

木材産業においては、歴史的経緯から高い加工技術があるほか、秋田県立大学木材高度加工研究所の立地という地の利を活かした産学官連携を更に進め、ポテンシャルを高めるための取り組みが求められています。

- 交流人口の拡大は、飲食や宿泊、地元産品販売を中心に、地域経済への波及効果を生み出し、ひいては雇用確保へつながります。人口減少やそれに伴う経済縮小が見られる中で、交流人口の拡大がもたらす効果は大きいと考えられます。

本市には、旧料亭金勇やきみまち阪、風の松原等の地域資源のほか、役七夕や港まつり、能代の花火、おなごりフェスティバル、きみまちの里フェスティバル、天空の不夜城等の観光客が多く訪れる伝統行事やイベントがあります。こうした地域資源を活用した交流人口の拡大が求められます。

2 基本的方向

- 新たな企業の誘致及び既存企業の経営維持・拡大のための支援を充実させるとともに、起業や商品開発への助成等を通じて、しごとの創出や雇用の拡大を目指すほか、関係機関と連携し、企業等が求める人材の確保に努めます。

また、地域主体による風力等の再生可能エネルギーを効率的に活用した施設導入や、再生可能エネルギー関連産業の創出を図るほか、将来的な水素エネルギー活用の可能性を探るとともに、重要港湾である能代港において、本地域のみならず、東北管内の電力の安定供給を担う能代火力発電所

が進む中で、担い手育成や新規就農の促進が求められています。

- 木材供給に対する外材依存が高いことから地場産材の利用が進まず、秋田スギの価格低迷が続いており、造林から保育、伐採までの林業経営は採算面で難しい状況にあります。本市は伐期を迎えている秋田スギが多いことから、この利用に向けた取り組みが急務となっています。本市には、蓄積された加工技術があるほか、秋田県立大学木材高度加工研究所が立地していることから、引き続き産学官連携の取り組みを進めることで、木材産業の振興に向け、その可能性が高い地域であると考えられます。

- 交流人口の拡大は、飲食や宿泊、地元産品販売を中心に、地域経済への波及効果を生み出し、ひいては雇用確保へつながります。人口減少やそれに伴う経済縮小が見られる中で、交流人口の拡大がもたらす効果は大きいと考えられます。

本市には、旧料亭金勇やきみまち阪、風の松原等の地域資源のほか、港まつりや能代の花火、おなごりフェスティバル、きみまちの里フェスティバル、天空の不夜城等の観光客が多く訪れるイベント、伝統行事があります。こうした地域資源を活用した交流人口の拡大が求められます。

2 基本的方向

- 新たな企業の誘致及び既存企業の経営維持・拡大のための支援を充実させるとともに、起業や商品開発への助成等を通じて、しごとの創出や雇用の拡大を目指すほか、関係機関と連携し、企業等が求める人材の確保に努めます。

また、地域主体による風力等の再生可能エネルギーを効率的に活用することにより、エネルギーで活力をつくり、エネルギーを自給できる『エネルギーのまち』を目指すとともに、再生可能エネルギー関連産業の創出を図るほか、将来的な水素エネルギー活用の可能性を探ります。

との協力や連携等により、エネルギーで活力をつくり、エネルギーを自給できる『エネルギーのまち』を目指します。

- 稲作の一層の生産性向上と、付加価値を高めるための取り組み及び戦略作物等の野菜との複合経営を促進します。また、農産物のブランド確立や新たな付加価値の創造に取り組むほか、6次産業の確立に向けた検討を行います。農業者の確保のためには、認定農業者や農業法人を中心に農業の担い手育成に努めるとともに、新規就農者等への支援を行います。
- 林業と木材産業が生産から販売まで一体的に取り組む体制づくりや、多様なニーズに対応できる林業・木材産業の確立に努めます。このため、能代市林業木材産業振興検討委員会を中心に総合的な検討を行うほか、木材高度加工研究所等との連携により、能代市独自の木製品等の開発やC L T等の新たな技術の活用を検討しながら、公共建築物等への木材利用の拡大を図ります。また、森林の適正管理のための林道や作業道の整備を拡充し、林業生産の効率化による安定した林業経営を目指します。
- 交流人口の拡大に向け、シティセールスの充実を図りながら、地域の情報や案内を様々なPR媒体で発信するほか、広域的な連携による情報発信に努めます。また、様々な地域資源を活用するとともに、それらを更に磨き上げて、価値を高めるほか、各種伝統行事やイベント等への支援を行うなど交流人口の拡大を図り、経済への波及効果を含めて、地域の活力を高め、雇用の維持・拡大につなげます。

3 数値目標

雇用創出数 87人（火力雇用者数を除く）

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 地域産業の活性化の推進

(ア) 新エネルギー等関連産業の創出

- 稲作の一層の生産性向上と、付加価値を高めるための取り組み、_____戦略作物等の野菜との複合経営を促進します。また、農産物のブランド確立や新たな付加価値の創造に取り組むほか、6次産業の確立に向けた検討を行います。農業者の確保のためには、認定農業者や農業法人を中心に農業の担い手育成に努めるとともに、新規就農者等への支援を行います。
- 林業と木材産業が生産から販売まで一体的に取り組む体制づくりや、多様なニーズに対応できる林業・木材産業の確立に努めます。このため、能代市林業木材産業振興検討委員会を中心に総合的な検討を行うほか、木材高度加工研究所等との連携により、能代市独自の木製品等の開発やC L T等の新たな技術の研究に取り組みながら、公共建築物等への木材利用を進めます。_____また、森林の適正管理のための林道や作業道の整備を進め、林業生産の効率化による安定した林業経営を目指します。
- 交流人口の拡大に向け、シティセールスの充実を図りながら、地域の情報や案内を様々なPR媒体で発信するほか、広域的な連携による情報発信に努めます。また、様々な地域資源を活用するとともに、それらを更に磨き上げて、価値を高めるほか、各種イベントや伝統行事等への支援を行うなど交流人口の拡大を図り、経済への波及効果を含めて、地域の活力を高め、雇用の維持・拡大につなげます。

3 数値目標

新規就職者数： ●人

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 地域産業の活性化の推進

(ア) 新エネルギー等関連産業の創出

<p>(a)関連産業の創出と育成</p> <p>風力やバイオマス、太陽光等を活用した、地域主体による再生可能エネルギーの発電施設の更なる導入を図ります。</p> <p>また、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー関連産業の施設整備や整備後のメンテナンス等の関連分野への地元企業の参入を促進し、本市におけるエネルギー関連産業の振興を図るほか、新たな産業創出へ向けた研究を進めるとともに、エネルギー関連分野へ携わる人材を育成するため、教育機関や研究機関との連携を図ります。</p> <p><u>さらに、CO₂を削減するためCCSの研究を行います。</u></p> <p>(b)水素エネルギーの研究 (省略)</p> <p>(イ)企業誘致及び企業活動への支援等 (省略)</p> <p>(ウ) 商工業の振興</p> <p>(a)～(b) (省略)</p> <p>(c)起業等の促進</p> <p>市内において起業、新商品の開発、新規分野に参入しようとする事業者等を支援するとともに、さまざまな団体が実施している各種支援の<u>情報の収集・発信を強化します。</u></p> <p>また、若者の雇用の創出につなげるため、起業家育成等、起業しやすい環境を整えるとともに、起業後のフォローアップ体制の強化に努めます。</p> <p>(d)人材の確保・就職支援 (省略)</p> <p>(エ) 農業の振興 (省略)</p>	<p>①関連産業の創出と育成</p> <p>風力やバイオマス、太陽光等を活用した、地域主体による再生可能エネルギーの発電施設の更なる導入を図ります。</p> <p>また、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー関連産業の施設整備や整備後のメンテナンス等の関連分野への地元企業の参入を促進し、本市におけるエネルギー関連産業の振興を図るほか、新たな産業創出へ向けた研究を進めるとともに、エネルギー関連分野へ携わる人材を育成するため、教育機関や研究機関との連携を図ります。</p> <hr/> <p>②水素エネルギーの研究 (省略)</p> <p>(イ)企業誘致及び企業活動への支援等 (省略)</p> <p>(ウ)商工業の振興</p> <p>①～② (省略)</p> <p>③起業等の促進</p> <p>市内において起業、新商品の開発、新規分野に参入しようとする事業者等を支援するとともに、さまざまな団体が実施している各種支援の<u>周知や起業意欲のある人への情報の発信・収集を推進します。</u></p> <p>また、若者の雇用の創出につなげるため、起業家育成等、起業しやすい環境を整えるとともに、起業後のフォローアップ体制の強化に努めます。</p> <p>④人材の確保・就職支援 (省略)</p> <p>(エ)農業の振興 (省略)</p>
--	---

(オ) 林業、木材産業の振興**(a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立**

林業と木材産業が生産から販売まで、一体的に取り組む体制づくりを推進します。また、秋田スギ活用のための新たな動きに対応し、地場産材の需要拡大につなげていくとともに、競争力のある企業の育成を図ります。

また、能代市林業木材産業振興検討委員会を中心に、林業・木材産業についての総合的な検討を行うほか、木材高度加工研究所等との連携により、能代市独自の木製品等の開発や、CLT等の新たな技術の活用を検討しながら、公共建築物等への木材利用の拡大を図ります。

(b)～(c)

(省略)

**(2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大
(ア)～(イ)**

(省略)

(ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

中心市街地を含め、地域への誘客につなげるため、観光客が多く訪れる伝統行事の役七夕やおなごりフェスティバル、天空の不夜城、港まつり、能代の花火、きみまちの里フェスティバル、きみまち阪の桜・紅葉まつり等各種イベントへの支援を行ないます。

▶基本目標2 少子化対策**1 基本的な考え方（現状と課題）**

○年々出生数は減少しており、本市では、昭和45年に1000人程度の出生数が平成2年には500人前後となり、25年では269人となっています。また、20～49歳の未婚者の割合は、平成2年頃には21.4%であったものが、22年には35.8%まで上

(オ) 林業、木材産業の振興**① 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立**

林業と木材産業が生産から販売まで、一体的に取り組む体制づくりを推進します。また、秋田スギ活用のための新たな動きに対応し、地場産材の需要拡大につなげていくとともに、競争力のある企業の育成を図ります。

また、能代市林業木材産業振興検討委員会を中心に、林業・木材____についての総合的な検討を行うほか、木材高度加工研究所等との連携により、能代市独自の木製品等の開発や、CLT等の新たな技術の研究に取り組みながら、公共建築物等への木材利用を進めます。

②～③

(省略)

**(2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大
(ア)～(イ)**

(省略)

(ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

中心市街地を含め、地域への誘客につなげるため、観光客が多く訪れるイベント、伝統行事である能代役七夕やおなごりフェスティバル、天空の不夜城、港まつり能代の花火、きみまち阪の桜・紅葉まつり等への支援を行ないます。

▶基本目標2 少子化対策**1 基本的な考え方（現状と課題）**

○年々出生数は減少しており、本市では、昭和45年に1000人程度の出生数が平成2年には500人前後となり、25年では269人となっています。また、20～49歳の未婚者の割合は、平成2年頃には21.4%であったものが、22年には35.8%まで上

<p>_____ _____</p> <p>(2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化</p> <p>(ア) 出会いの機会の提供 (省略)</p> <p>(イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実</p> <p><u>(a)不妊治療等に対する支援の推進</u> 不妊治療等を受けている夫婦の経済的、精神的負担を軽減するため、_____ 要した費用に対して支援を行います。</p> <p><u>(b)子どもを産み育てるサポート体制の充実</u> (省略)</p> <p>(ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減 (省略)</p> <p>(エ) 子育てと仕事の両立支援</p> <p><u>(a)安心して預けられる保育環境の整備</u> 子育てと仕事を両立できるように、<u>保育所、認定こども園等の質の向上を図り、子育て支援や幼児教育に取り組みます。</u></p> <p><u>(b)企業等による子育て支援の促進</u> 安心して子育てと仕事を両立できるように、<u>子育てしやすい職場づくりに取り組む企業を支援します。</u></p> <p>(オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり (省略)</p> <p>(3)次代を担う子どもの成長支援</p> <p>(ア) きめ細かな教育の推進 (省略)</p>	<p>よう、子育ての楽しさ等の理解・促進が図れるよう取り組みます。</p> <p>(2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化</p> <p>(ア) 出会いの機会の提供 (省略)</p> <p>(イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実</p> <p><u>①不妊治療</u>に対する支援の推進 不妊治療_を受けている夫婦の経済的、精神的負担を軽減するため、<u>特定不妊治療や一般不妊治療</u>に要した費用に対して支援を行います。</p> <p><u>②子どもを産み育てるサポート体制の充実</u> (省略)</p> <p>(ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減 (省略)</p> <p>(エ) 子育てと仕事の両立支援</p> <p><u>①安心して預けられる保育環境の整備</u> 子育てと仕事を両立できるように、<u>幼稚園や保育所、認定こども園等の充実を図り、子育て支援や幼児教育に取り組みます。</u></p> <p><u>②企業等による子育て支援の促進</u> 安心して子育てと仕事が両立できるように、<u>企業による子育てしやすい職場づくりを</u> 支援します。</p> <p>(オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり (省略)</p> <p>(3)次代を担う子供の成長支援</p> <p>(ア) きめ細かな教育の推進 (省略)</p>
---	--

<p>▶基本目標3 移住・定住対策</p> <p>1 基本的な考え方（現状と課題）～2 基本的方向 （省略）</p> <p>3 数値目標 <u>市からの転出、転入増減数 △120人</u></p> <p>4 具体的な施策と重要業績評価指標</p> <p>(1)首都圏等からの移住の促進 （省略）</p> <p>(2)若者の定住の促進 (ア) 高校卒業者の定住及び大卒者等のUターンの促進 <u>高校及び大学卒業者等の市内への就職や定住が、促進されるような環境整備や機会創出を図ります。</u></p> <hr/> <p>(3)地元への愛着をはぐくむ (ア)～(イ) （省略）</p> <p>(ウ) 特色あるまちづくり バスケの街づくり、宇宙のまちづくり、恋文のまちづくり等、関係機関、団体等と連携しながら、市民と行政が一体となって、本市独自の特色あるまちづくりを進めます。</p> <p>※<u>特色あるまちづくり</u></p> <p>■<u>バスケの街</u> <u>本市にはバスケの名門「能代工業高等学校」があることから、バスケに関する様々な取り組みが行われています。毎年、5月の連休中にはインターハイ、国体、選抜に次ぐ「第4の全国大会」と呼ばれる「能代カップ」高校選抜バスケットボール大会が行われているほか、国内外のバスケの関連資料や書籍、グッズなどを展示する能代バスケミュー</u></p>	<p>▶基本目標3 移住・定住対策</p> <p>1 基本的な考え方（現状と課題）～2 基本的方向 （省略）</p> <p>3 数値目標 <u>市からの転出：●人減少、転入：●人増加（2014年比）</u></p> <p>4 具体的な施策と重要業績評価指標</p> <p>(1)首都圏等からの移住の促進 （省略）</p> <p>(2)若者の定住の促進 (ア) 高校卒業者の定住及び大卒者等のUターンの促進 <u>高校卒業、または県外の大学、専門学校等に進学した若者が、本市にUターンしやすいような環境整備や機会創出を図ります。</u></p> <hr/> <p>(3)地元への愛着をはぐくむ (ア)～(イ) （省略）</p> <p>(ウ)特色あるまちづくり バスケの街づくり、宇宙のまちづくり、恋文のまちづくり等、関係機関、団体等と連携しながら、市民と行政が一体となって、本市独自の特色あるまちづくりを進めます。</p> <hr/>
--	--

ジウムや街の公園等にはバスケットリング、国道沿いにはバスケットリングをイメージした街灯が設置されています。

■宇宙のまち

JAXAの附属研究施設である能代ロケット実験場が市内にあることから、子ども館では宇宙にちなんだ模型等を展示しているほか、全国の大学生等が集まる能代宇宙イベントや銀河フェスティバルなど、宇宙にちなんだイベントが数多く開催されています。

■恋文のまち

明治14年、明治天皇の東北巡幸の折、皇后様のお手紙がこの地で天皇を待っていました。その内容は、夏の長旅を気遣う皇后様からのまさに現代の「恋文」であり、明治天皇は、深い感銘を受けたこの地にそのときのお気持ちを込めて、「きみまち阪」と命名されました（現在の県立自然公園きみまち阪）。同公園内には恋文神社や恋文ポスト、きみ恋カフェ、きみまち恋文ギャラリー等を開設しているほか、対岸の七座山の麓には恋の願いが叶うとのいわれがある「連理のいちょう」などがあります（県指定天然記念物銀杏木）。

▶基本目標4 新たな地域社会の形成

1 基本的な考え方（現状と課題）～2 基本的方向
（省略）

3 数値目標

住みやすさの満足度 80%

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 広域的な視点での地域社会の形成
（省略）

(2) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域コミュニティの維持

▶基本目標4 新たな地域社会の形成

1 基本的な考え方（現状と課題）～2 基本的方向
（省略）

3 数値目標

住みやすさの満足度：●%

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 広域的な視点での地域社会の形成
（省略）

(2) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域コミュニティの維持

<p>(a)自治会等への支援 (省略)</p> <p>(b)地域づくりの促進 地域課題の解決のため、ビジネスの手法や地域資源を活用したまちづくりに取り組む団体等や各種のボランティアを行なう団体等を支援し、市民による地域づくりを促進します。 また、人口減少や高齢化に伴い、住民の生活に必要な生活サービス機能の低下が懸念されることから、基幹的集落に機能・サービスを集約化し、周辺集落とのネットワークを持つ、いわゆる「小さな拠点」について研究し、地域社会の維持につなげます。</p> <p>(イ) 防災への対応強化 消防団の人員確保による機能維持や自主防災組織の設置数の増、学校との連携等により災害対応の充実を図り、安心して暮せる地域社会の形成を目指します。</p> <p>(ウ) 地域公共交通の維持・確保 (省略)</p> <p>(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援 (省略)</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり (省略)</p> <p>第5章 主要な戦略 (新規追加)</p>	<p>①自治会等への支援 (省略)</p> <p>②地域づくりの促進 地域課題の解決のため、ビジネスの手法や地域資源を活用したまちづくりに取り組む団体等や各種のボランティアを行なう団体等を支援し、市民による地域づくりを促進します。</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>(イ)防災への対応強化 消防団の人員確保による機能維持や自主防災組織の設置数の増による災害対応の充実を図り、 安心して暮せる地域社会の形成を目指します。</p> <p>(ウ)地域公共交通の維持・確保 (省略)</p> <p>(エ)若者、女性、高齢者の活躍支援 (省略)</p> <p>(オ)「小さな拠点」形成の研究 人口減少や高齢化に伴い、住民の生活に必要な生活サービス機能の低下が懸念される中、基幹的集落に機能・サービスを集約化し、周辺集落とのネットワークを持つ、いわゆる「小さな拠点」について研究し、地域社会の維持につなげます。</p> <p>(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり (省略)</p> <hr/>
--	---